

平成 19 年度
第 1 回 櫛引 地域 審 議 会
会 議 録



期 日：平成 19 年 5 月 30 日（水）

場 所：櫛引公民館多目的ホール

平成19年度 第1回櫛引地域審議会会議録（概要）

日 時 平成19年5月30日（水）午後1時30分開会～午後3時45分閉会

場 所 櫛引公民館多目的ホール

出席委員（五十音順）

金内 理、齋藤三紀、佐々木はつ子、澤川宏一、菅原幸雄、鈴木和己
清和梅子、長南源一、成田新一、畠山 健、畑山久恵、前田藤吉
松平久和、吉田吉郎

（秋山弥里、佐久間泰子、小林 隆、齋藤賢一、松田 茂、松田安男 欠席）

市出席者

櫛引庁舎 支所長 小林良市、次長 水口栄作、総務課長 鈴木 亮
政策企画室長 渋谷俊美、市民福祉課長 五十嵐孝雄
健康福祉主幹 平藤博巳、建設環境課長 渡部賢一
産業課長 佐久間忠勝、教育課長 成田 進
総務課総務地域振興主査 渋谷 清
総務課総務地域振興班主任 佐藤直樹

本 所 政策調整室長 石山健一、同室調整課長 柴田昌明
同室政策調査課長 渡邊 純、同室主査 宮崎清男

次 第

（新委員への辞令交付）

1．開 会

2．あいさつ

3．職員紹介

4．会長の選出

5．報 告

（1）平成19年度予算の概要について

（2）平成19年度の主な事業の概要について

6．そ の 他

7．閉 会

【 会議の概要 】

午後 1 時 3 0 分開始

(新委員への辞令交付)

新委員の金内 理さん、齋藤三紀さんへ小林良市支所長が辞令を交付した

- 1 . 開 会 水口次長
- 2 . あいさつ 畑山久恵副会長
小林良市支所長
- 3 . 職 員 紹 介 水口次長が本所職員、庁舎職員を紹介
- 4 . 会長の選出 水口次長が、前会長の富樫貞治氏が区長会長の職を退いたことから地域審議会の会長の職が空席となっていることを説明するとともに、会長の選出方法について諮ったところ、成田新一委員より齋藤三紀区長会長を推薦する旨の発言があり、その発言に賛意を求めたところ委員全員から異議なしの声があり、齋藤三紀委員が新会長に選出された。
—新会長あいさつ—

5 . 報 告

- (1) 平成 19 年度予算の概要について
鈴木総務課長が予算資料及び広報予算特集号により概要を説明した。
- (2) 平成 19 年度の主な事業の概要について
鈴木総務課長、渋谷政策企画室長、五十嵐市民福祉課長、成田教育課長、渡部建設環境課長、佐久間産業課長、平藤健康福祉主幹が予算資料により概要を説明した。



～ 1 0 分間の休憩 ～

齋藤三紀会長

ただいま当局より平成19年度予算の概要及び主な事業の概要についての説明がありました。櫛引町の時と比べ予算規模が10倍以上になっておりますので質問をするうえではなかなか難しいところもありますが、主に櫛引地域に係る事業についても説明があった訳でありますし、また、鶴岡市全体に関することでも結構でありますので、委員の皆さんの質問を求めます。鈴木委員。

鈴木和己委員

勉強不足で申し訳ありませんが、教育関係予算の説明の中で西小学校屋外キュービクル改修工事とありましたが、キュービクルとはどういうものなのか。また、贈呈用ランドセル購入費（実施地区藤島、羽黒、朝日地域）で実施しているランドセルの贈呈はいつまで続くものなのか。もう一つは、予算の中で農業用廃プラスチック適性処理事業補助金とある訳ですが、これは個人に対するものなのか、または処理業者に対するものなのかお聞きしたい。

成田教育課長

では私の方から教育関係予算へのご質問についてお答えいたします。一点目のご質問についてですが、キュービクルとは受電用の機器を極力整理簡素化して、これに配線し、接地した金属箱内にコンパクトに収めた高圧受電設備のことを言います。これが老朽化により支障をきたす為、今年度において交換するものであります。二点目のご質問であります。これは合併調整項目の一つでもありまして、これまでも検討してきましたが、現在はまだ未調整ということになっているものでありまして、19年度は予算化されていますが、20年度以降については未調整ということになりますので今後さらに検討していくものとなっております。

佐久間産業課長

続きまして、農業用廃プラスチック適正処理事業補助金へのご質問であります。資料に記載されている予算額は鶴岡市全体のものでありまして、うち櫛引地域の予算については30万円となっております。これは農業用廃プラスチックの適正処理を進めるため、廃プラスチック適正処理協議会というものを組織しておりまして、その協議会への補助金となっております。

齋藤三紀会長

他にございませんか。金内委員。

金内理委員

学校教育関連について、二点ほどご質問いたします。一つが、上山添三千刈線道路拡張工事に伴いまして、西小学校グラウンド脇にある駐車場も相当な面積を道路用地として提供しなければならいと聞いております。現在、PTA活動などをする場合でも駐車場が足りない状況でありまして、その代替用地の確保を検討されているのかということ。二つ目が予算特集号7ページに、家庭教育の推進や放課後子どもプランへの取り組みを進めると記載されておりますが、放課後子どもプランへの取り組みとは具体的にどのように考えておられるのかご質問いたします。

成田教育課長

初めに駐車場のことについてご説明いたします。金内委員のご質問のとおり西小学校グランド脇駐車場については道路用地として敷地の半分ほどを提供しなければならないという状況であります。そのため、代替用地の確保について現在検討中であります。具体的には、学校周辺で駐車場用地として土地を提供してくださる方を探すということになりますが、できれば分散させず、一箇所に集中させたいと思っております。また、上山添公民館の移転とも関係してくることから、それと合わせましてご迷惑がからないよう十分検討していきたいと考えております。つぎに、放課後子どもプランへの取り組みであります。現在本所社会教育課を中心に進めておりますが、間もなく委員会を立ち上げまして、櫛引地域からも1名委員を選出し、その中で具体的な取り組みなどを検討していくことになっております。今年度は朝日小学校がモデル地区となるようでありまして、なかなかこのことも地域間での考え方が様々あり難しいところですが、国の施策として決まったことでもありますので、今後、学校・PTA・教育委員会が相談をしながら具体的な方向を決めていくこととなるものです。

齋藤三紀会長

他にございませんか。前田委員。

前田藤吉委員

建設環境予算についてであります。説明の中でゴミステーション建設補助金が今年度限りで廃止とあった訳ですが、それは確定なのかどうか。また、この補助金は既存ゴミステーションの修繕等でも使えるのか伺いたい。

渡部建設環境課長

お答えいたします。ゴミステーション建設補助金については、合併調整の中では当初、合併と同時に廃止ということでありましたが、各地区において整備計画をもって取り組んでいることから、即廃止ということでは住民の方にご迷惑をおかけするということで、19年度まで継続させる調整となったものであります。そのため、本年度限りで廃止が確定しているものであります。また、この補助金はあくまで新設のものへの補助でありまして、修繕・拡充といったものについては対象としていないものであります。

齋藤三紀会長

他にございませんか。予算にこだわらなくても提案でもよいのでなにかありませんか。佐々木委員どうぞ。

佐々木はつ子委員

学校給食のことについて質問したいのですが、地産地消の推進ということで取り組んでいる訳ですが、給食の中で地域の物を使用する割合はどれくらいになっているのか、また櫛引地域の中でボランティア活動やNPO活動をする団体等はどれくらいあるのかお聞きしたい。

成田教育課長

ご説明させていただきます。学校給食の地産地消については産業課のほうとも連携

しながら進めているところでありますが、その割合につきましては、今資料を持ち合わせておりませんので後ほど詳しい資料について提出したいと思います。なお、果樹につきましては、ここにめぐりの組合長さんもおられますが、いろいろご協力いただき、ほぼ地域の物を提供できる状況となっております。また、できるだけ地域の物を使用するようにしております。食材については櫛引地域 庄内 県 他地域の順で購入するようにしております。JAにもその旨話をしているものでありまして、また、19年度においては18年度よりさらに多くの地域の物を利用していきたいと考えております。次にボランティアであります。これについては高校生ボランティア・ノーサイドが活動しておりますし、社会人ではくしびギンなどが様々な活動しております。

平藤健康福祉主幹

ボランティアの件につきましては、社会福祉協議会が窓口となり、およそ20位の団体が様々なボランティア活動を展開しております。また、NPOにつきましては管内には法人格を取得して活動をしている団体はございませんが、代表が櫛引の方であるアインシュタインの会というのがございますが、ここは法人格を取得して活動しております。

齋藤三紀会長

他にございませんか。成田委員。

成田新一委員

櫛代分校が閉校してから1年以上経過した訳ですが、その活用方法について、19年度中には目途をつけたいという話を聞いたことがあります。どのような方向で進んでいるのかお聞きしたいと思います。

成田教育課長

櫛代分校につきましては、18年度からいろいろな団体にお貸しして、どういう方向が今後の活用としてよいのかということで検討してまいりました。昨年は4団体、約110名の子ども、親などが利用いたしました。また、19年度におきましては、施設管理の予算も計上されておりますので、現在検討しておりますのは、それぞれの学校での取り組みについて、指導主事、教務主任が中心となりまして利用の検討をしていくという状況です。それから、子ども育成会、社会教育などでも今年度利用していきながらさらに検討していきたいという考えであります。

齋藤三紀会長

他にございませんか。畠山委員さん、消防の方からなにかございませんか？

畠山 健委員

これは合併前からの事案であります。また、今回の予算には盛り込まれていない訳ですが、1台限界にきている自動車ポンプについて、今後更新の予算要求をしていくのかどうか、というのは、以前にも話しましたが、櫛引地区に今後も2台の自動車ポンプを配置するのか、それとも積載車に替えるのか、これは団のなかでつめていくものかもしれませんが、当局としてはどのように考えているのか伺いたい。

鈴木総務課長

こちらの考え方というよりも、櫛引消防団のなかでどのような整理がされるかということだと思えます。というのは、現在下山添と黒川中に自動車ポンプが配置されている訳ですが、団員の確保が大前提でありますので、これから団の中で議論いただきたいのはまさにそのことではないかと思えます。下山添については戸数が結構ありますので大丈夫かと思われませんが、黒川中については滝の上の積載車がなくなった経過もありますので、団の中で地区全体の計画、役割などを明確にした上で、市の整備計画に盛り込むというのが順当ではないのかと思われまます。

齋藤三紀会長

他にございませんか。澤川委員。

澤川宏一委員

農林水産予算についてお伺いします。基本的な市政の中で、農林水産業の再生・振興が大きな柱となっておりますが、その割には予算的に削減されている気がする訳ですが、その中で営農担い手支援事業のことでお聞きします。農業経営基盤強化資金利子助成予算が980万円ほど昨年度より減額になっていますが、昨日も櫛引地区の認定農業者の会議があったのですが、現在再認定の時期にきている認定農業者で当初目標をクリアした方が半分以下という状況になっていきます。19年度からの鶴岡市農業経営基盤強化の促進に関する方策で所得標準額の見直しもある訳ですが、そういった目標・構想がある割には肝心の支援事業が果たして充実しているのかな、と疑問があります。特に稲作の所得標準がかつて10アールあたり78,000円だったものが、19年度から37,000円ということで、非常に厳しい実態にありますので、農業経営の基盤強化に対する支援をもっと充実していただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

佐久間産業課長

農林水産予算についてであります。担い手営農、特に本年度からいろいろな事業がスタートした訳ですが、その事業の主体的な担い手ということで認定農業者、集落営農組織に担い手が大きく二つに絞られたものでありまして、内容的には経営面積が認定農業者4ヘクタール、集落営農10ヘクタール以上と、方向としては大規模経営に主眼を置いたものとなっております。一方、認定農業者が市全体では1600人を超えており、櫛引地区においては4月末現在で200人ということで増えつつはありますが、櫛引の農家900弱で、認定農業者以外の農家、つまり要件を満たさないがやる気のある農家については、認定農業者と同様に国等の施策の対象となるように要望をしております。それから稲作の所得標準であります。以前は10アールあたりの所得もかなりありまして3~4ヘクタールもあれば所得も確保され、認定農業者の要件も整うという状況にありましたが、ご指摘のとおり米価も下がっていることから、10アールあたりの所得が下がっておりますし、また、生産コストについてはなかなか下げるのが難しいという状況にあります。鶴岡市としましては、認定農業者を増やしていきたいという目標を持っておりますので、果樹・園芸との複合経営の中でやっ

ていけないか、また、基本構想の目標を従前は500万円でありましたが、おおむね400万円ということでできるだけ多くの方が認定農業者となれるような体制を整えたいと考えております。それから予算の関係であります、旧櫛引町の時から予算化しておりました単独の事業につきましては、特に地域の特徴的なものを伸ばしていかなければならないという観点から、継続で予算化されておりますし、担い手育成ということでは、集落営農は櫛引地域では2集落にとどまっておりますが、もう少しで組織化がなされるという集落もありますので、JAとも相談して今年度は3集落について支援していきたい考えであります。なお、単独では限度がありますので、県及び国の事業なども取り入れながら、農林水産業の振興を図っていきたいと考えておりますのでご理解をお願いいたします。

齋藤三紀会長

他にございませんか。菅原委員

菅原幸雄委員

高齢者インフルエンザ予防接種事業の予算が前年度に比べ150万円ほど減額となっておりますが、希望者は今年度どおり接種できるのかどうかと減額の理由をお聞きしたい。

平藤健康福祉主幹

お答えいたします。昨年度と比べ予算が減額となったのは、昨年度の接種率などが原因と考えられます。なお、対象者及び実施方法については昨年度と変更ありませんのでよろしくをお願いいたします。

齋藤三紀会長

だいぶ時間のほうも経過しましたが、まだ質問がある方がいらっしゃるようですので、もうしばらく続けさせていただきます。質問等ある方いらっしゃいませんか。佐々木委員

佐々木はつ子委員

合併して1年8ヶ月経過した訳ですが、自分のことを言うと地域(旧櫛引町)との縁(つながり)が薄れてきたような感じがします。それで、地域(旧櫛引町)の一員であることが実感できるようなイベント等の開催を望みますがいかがでしょうか。

小林支所長

お答えになるかどうか分かりませんが、帰属意識という言葉がございます様に、確かに合併してから鶴岡市民としての意識の高まりとともに、旧櫛引町への帰属意識が薄れてきているのではないかなと思います。これも合併効果なのかもしれません。一方で櫛引地区には、22の地区がある訳ですが、そこをベースとする活動が櫛引地区の場合、他の地域に比べて相当程度深く、厚くなっているのではないかなと思います。例えば、婦人会活動、民生児童委員、各種スポーツ大会、福祉、社会教育、防災、防犯などです。今後、この地区をベースとする活動は益々重要であり、強化していかなければならないと思います。ある会議の中で、羽黒の代表の方がおっしゃっておられましたが、市町村の活動の根本は集落(地区)活動であり、一つ一つの細胞の

集まりのようなものである。その細胞がしっかりしていないと市町村としての町づくり、地域づくりも成り立たないので、それぞれが地区に対する帰属意識をしっかり持ち活動していくことが必要であるという主旨の発言をしておられました。共感しながら拝聴しておりました。

齋藤三紀会長

他にございませんか。畑山委員。

畑山久恵委員

5月1日より荘内病院内科外来が完全紹介制に変わり、開業医の紹介状がないと受診できない状況となりましたが、荘内病院には重篤な状態にならないと診てもらえないのではと不安になりますが、この状況はずっと継続していくのかどうか、分かる範囲で説明をお願いします。

平藤健康福祉主幹

分かる範囲でお答えいたします。これは病院を受診する患者さんも数多く、医師が一人の患者さんに関わる時間も短い状況にあること、また、荘内病院については、この地域の高度医療を担うという役割を持っていることから、その基本がしっかりと活かされる体制を維持していかなければならないものでありますので、皆さんにはかかりつけ医をもっていただきまして、病院での治療が必要となった場合は、紹介状を書いていただいて受診するという方向に変えていかないと、本来の荘内病院がもつ機能を十分発揮できないことから、今回のような体制になったものでありますのでご理解いただきたいと思います。

齋藤三紀会長

他にございませんか。それでは私から二点だけお尋ねといえますか、提案を申し上げたいと思います。

一つは区長会の雑談の中で出た話で、これからの課題だなと思ったことではありますが、というのは、準公共施設といえますか、各地区には公民館がある訳ですが、これは地区の活動の拠点でありますので、いろいろな支援を受けながら整備をしていくというのは当然のことと考えます。その中で主に選挙の時ではありますが、障害者・高齢者の方が多く参ります。そのため、施設のバリアフリー化は当然だなと思う訳でありますし、トイレの改修となるとかなりの財源が必要となりますが、例えば、スロープの設置など各地区公民館で整備した場合、公民館施設整備補助事業の対象となるのかどうか、もしなければぜひ今後課題にすべきでないのかということが一点。

二つ目が他の地区にはあまり関係ないのかもしれませんが、下山添地区には世帯数が340程ございまして、その中には外国人の方がいらっしゃいます。その方たちへの地域コミュニティでの支援対策をどういった形でしていくのか、これは地区内の課題の一つでもあります。隣近所との付き合いもなかなかうまくいかないということもありますので、なんらかの支援対策があっても良いのではないかなと思われま。櫛引地域にどれ位の外国人の方がおられるか分かりませんが、今後も増えるのではないかなと思われま。ぜひ検討して頂きたいと思ひます。このことは要望として申

し上げておきたいと思います。

成田教育課長

一点目の地区公民館整備事業につきましては、対象になるものと思います。現に板井川地区におきまして、公民館にスロープを設置しております。二点目については、我々といたしましても児童の父母としてのこともありますので、教育委員会として、また地域全体としましても今後の課題として取り組んでいきたいと考えております。

齋藤三紀会長

他にございませんか。だいが議論も出尽くしたようでありますので、質疑を終わりたいと思います。続いてその他であります、庁舎の方から何かありますでしょうか。

小林支所長

鶴岡市総合計画策定に係る地域懇談会を地域審議会委員をメンバーとして委嘱し、第1回会議を7月に開催することについて説明、通知した。

齋藤三紀会長

その他で委員各位のご意見ご要望どんなことでもよいので、なにかある方いらっしゃいますか。特に無いようでありますのでこれで全部を終了したいと思います。活発なご意見、ご質問をいただいたことに感謝申し上げ、以上をもちまして本日の協議内容を全て終了し、議長の任を終わりたいと思います。

7. 閉 会

水口次長

長時間ご審議を頂きましてありがとうございました。以上をもちまして平成19年度第1回櫛引地域審議会を閉会させていただきます。(午後3時45分)

